

令和6年度 産業動物獣医師体験研修

秋田県農林水産部畜産振興課

令和6年8月、高校生の親子を対象とした「産業動物獣医師体験研修」を開催しましたので、その概要をご紹介します。

本研修は令和元年度に始まり、今年度で5回目（令和2年度中止）になります。

参加者からは「産業動物獣医師という新たな選択肢が増えた」と好評で、2年連続で参加する生徒も複数おり、生徒の獣医系大学入試のモチベーション維持にも一役買っています。

また、令和5年度は、参加者のうち2名が、秋田県地域枠修学資金制度（※別記）により、獣医系大学の入学特別選抜試験に合格し、未来の公務員獣医師への第一歩を踏み出しました。

将来、研修参加者が県内産業動物獣医師として益々活躍することを、心から期待しています。

主催 秋田県（畜産振興課、各家畜保健衛生所、畜産試験場）

共催 秋田県農業共済組合（NOSAI秋田家畜診療所）、公益社団法人秋田県農業公社

協賛 公益社団法人秋田県獣医師会

- 1 目 的 秋田県で不足している産業動物獣医師を確保するため、産業動物獣医師の業務について、獣医師を目指す高校生の理解醸成を図る

- 2 日 時 令和6年8月2日（金）
9：00から17：00

- 3 場 所 公益社団法人秋田県農業公社畜産センター（大仙市）、
秋田県畜産試験場（大仙市）、
秋田県中央家畜保健衛生所（秋田市）

- 4 参加者 高校生の親子10組20人
応募者12組（6高校）

5 概 要

(1) 体験研修スケジュール

- 9：00 バス出発
- 10：40 秋田県農業公社畜産センター着
牛の診療体験、牧場見学、鶏の採血見学
- 13：10 畜産試験場で血液検査体験
- 15：30 中央家保で家畜伝染病の診断（病性鑑定）
- 16：30 若手獣医師のアドバイス・質疑
獣医師の現状や修学資金の紹介
- 17：00 研修終了

【体験】牛の診察、牧場見学、鶏の採血 （担当NOSAI秋田家畜診療所等）



写真上：直腸検査、下：鶏の採血

【体験】血液検査、顕微鏡による原虫検査



【観察】家畜伝染病の診断

(担当 中央家畜保健衛生所)



【交流】若手獣医師のアドバイス

(担当 中央家畜保健衛生所)

参加者からの質問に対し、若手獣医師や現役大学生等が助言・回答

<質問>

- ・ 獣医師を目指すきっかけ、高校生が身につけるべきこと
- ・ 獣医師に求められる姿勢や態度、人材
- ・ 産業動物獣医師はなぜ不足しているか、また、不足による影響はあるか
- ・ 獣医師国家試験の合格率
- ・ 獣医師の男女比
- ・ 産業動物獣医師として働ける場所はどこにあるか

【紹介】獣医師の現状と修学資金

(担当 農林水産部畜産振興課)



(2) 参加した高校生の声 (アンケートより)

- ・ とても参考になった
- ・ 公務員獣医師という職業について理解を深めることができ、自分のモチベーションを作ることができた。
- ・ 獣医師というと小動物のイメージだが、産業動物獣医師という新たな選択肢が増えた
- ・ 動物を扱うだけでなく、人の生活を支えるという意味でも、獣医師という職業が重要だと知ることができた
- ・ 獣医師をめざそうという気持ちがさらに強くなった

※ 秋田県地域枠修学資金制度

(1) 秋田県地域枠産業動物獣医師養成確保事業

- ・ 獣医大学が設ける地域特別推薦枠により入学し、卒業後、秋田県職員として農林水産部への配属を志望する高校3年生に対し、入学金等を給付します。
- ・ 本県の獣医師職員として、修学資金の給付を受けた期間の5/3を勤務した場合は、返還債務が全額免除となります。

○地域枠特別推薦入学実績

大 学 \ 年度 (令和)	元年	2年	3年	4年	5年	6年
酪農学園大学		1				2
北里大学	1			1	1	
麻布大学			1	1		
計	1	1	1	2	1	2

(2) 獣医師修学資金給付事業 (令和6年度から実施)

- ・ 獣医大学が設ける地域特別推薦枠により入学し、卒業後、秋田県職員として生活環境部または農林水産部への配属を志望する高校3年生に対し、入学金等を給付します。
- ・ 本県の獣医師職員として、修学資金の給付を受けた期間の5/3を勤務した場合は、返還債務が全額免除となります。

令和6年度 動物愛護センター獣医師体験研修

秋田県生活環境部生活衛生課

高校生の親子を対象とした「産業動物獣医師体験研修」に続き、県の公衆衛生関係獣医師の業務内容について知っていただくための取組みとして「動物愛護センター獣医師体験研修」を開催しましたので、その概要をご紹介します。

食品衛生、乳肉衛生、狂犬病予防、動物愛護管理など、公衆衛生獣医師が行う業務を幅広く体験できる内容とし、参加者全員から「とても参考になった」と高評価をいただくことができました。獣医師の仕事としては比較的認知度の低い公衆衛生関係業務について、興味・関心を持っていただくための貴重な機会となりました。

主催 秋田県（生活衛生課、動物愛護センター、食肉衛生検査所、畜産振興課）

協賛 公益社団法人秋田県獣医師会

1 目 的 獣医師の業務内容や魅力をPRするとともに、秋田県への就職を条件とした修学資金制度等を参加者へ周知し、獣医大学入学後の修学資金の給付・貸与を推進し獣医師職員の確実な採用に繋げることを目的とする。

15:00 若手獣医師との座談会

16:00 獣医師の現状や修学資金の紹介

17:00 研修終了

2 日 時 令和6年8月9日（金）
9:00から17:00

3 場 所 秋田県動物愛護センター
（秋田市雄和）

4 参加者 県内の高校生の親子10組19人
（高校生10人、保護者9人）

【見学】動物愛護センター施設見学



5 概 要

(1) 体験研修スケジュール

9:00 動物愛護センターへ集合

9:15 研修の概要説明
公衆衛生獣医師の職業紹介
（保健所、動物愛護センター、
食肉衛生検査所）

11:00 獣医師紹介動画の視聴

11:30 施設見学

13:00 体験研修

※ 3班でローテーションを組み、
次の見学と体験を実施

- ① 施設見学
- ② 保護犬猫の飼養管理体験
- ③ 検査体験
- ④ 馴化体験
- ⑤ 食肉衛生検査所の業務体験

【体験】食品衛生

（担当 生活衛生課）



ATP拭き取り検査、水分活性測定

【体験】 乳肉衛生

(担当 食肉衛生検査所)



と畜検査の説明、病理検査体験

【体験】 動物愛護

(担当 動物愛護センター)



収容動物の診察、糞便・尿検査

【観察】 保護犬の馴化

(担当 動物愛護センター)



【交流】 若手獣医師のアドバイス

若手獣医師が仕事のやりがいや、入庁してから感じたことなどの話をし、参加者からの質問に対し、助言・回答した。

<質問>

- ・ 獣医師を目指すきっかけはなにか
- ・ 入試に向けてどのような勉強をしたか
- ・ 大学入学後に努力したこと
- ・ 職業の選択時期
- ・ 県の修学資金制度を活用したか

【紹介】 獣医師の現状と修学資金

(担当 農林水産部畜産振興課)



(2) 参加した高校生の声 (アンケートより)

- ・ 今回の研修はとても参考になった
(参加者10人全員が回答)
- ・ 獣医師の仕事について、幅広く理解することができた
- ・ 研修に来てみないと、分からないことも多かった。
- ・ 獣医師も人のための学問だということをより実感することができた。
- ・ 秋田県の獣医師について知る機会がなかったので、YouTube動画のように、これからも情報発信を続けてほしい。
- ・ 進路の視野を広げることが出来た。
- ・ 獣医師になりたい気持ちが強くなった。
- ・ もう少し近くの地域で説明を聞いたり、体験できたりするイベントがあればよい。



参加者に見ていただいた

YouTube動画

秋田県畜産振興課

公式チャンネル